

日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議 報告書【概要版】（令和7年9月）

【はじめに】

日田市立淡窓図書館は築後36年が経過し、老朽化に加え、従来とは異なった機能を持つ図書館が全国各地にできており、図書館サービスを近年の多様化する市民ニーズにあったものにする必要があります。

そこで、令和6年4月、「日田市立淡窓図書館の今後の在り方市民検討会議」（以降、「市民検討会議」という）を設置し、どのような図書館であるべきか、今後の在り方について検討し、日田市のまちづくりにつなげるため、日田市立淡窓図書館が“目指す図書館像”を掲げ、報告書を作成しました。

この概要版では、“目指す図書館像”をまとめるまでに至った【会議の経過】について、議論の＜内容＞と＜総括＞、会議（視察の感想含む）や子どもアンケートの主な意見・要望を掲載します。

【会議の経過】

第1回会議 令和6年7月18日	
＜内容＞	市民検討会議の概要（経緯、スケジュール、視察先の概要） 論点①淡窓図書館に対する思い
＜総括＞	図書館の在り方を検討する段階であり、期待される図書館のイメージなどの幅広い意見が出た。新築は市の財政上難しいが、サービスの充実を検討する。
会議等	主な意見・要望
第1回	保護者が小さい子供を連れて行きやすくなる図書館
第1回	勉強しながら話ができるスペースを提案
第1回	児童スペースや勉強スペースの配置改善を提案
第1回	高齢者の利用が難しい現状と移動手段の課題を指摘
第1回	読書通帳（電子化）を提案

第2回会議 令和6年10月24日	
＜内容＞	論点②市民が利用しやすい図書館とは 論点③必要な新たなサービスや機能・施設環境とは
＜総括＞	新たな利用者層の開拓や、視察先図書館の市民参加型の取組をどう捉えるのか、子どもアンケートの意見など、これらを踏まえ、次の会議で議論を深める。
会議等	主な意見・要望
第2回	映像（映画）を活用して、読書への興味を引き出す企画を提案
第2回	学習スペースや個人利用スペースなどスペースの確保
第2回	日田杉をふんだんに使ったベンチや待合所スペースで人が集まる場づくりを提案
第2回	子どもたちが気軽におしゃべりができる楽しめる環境づくりを要望
第2回	アーカイブ（郷土資料の保存・活用）の充実を提案
第2回	図書館の分散拠点を日田市内に数か所設置できないか提案
第2回	図書館にこない人の声を拾い上げる重要性を強調
第2回	図書館の職員が地域へ外向く必要性を提案
第2回	本を入口とせず、他のイベントや活動を通じて図書館への関心を引くことを提案
第2回	郷土資料や図書のデジタル化の必要性を指摘
第2回	SNSで図書館の本の情報をもっと発信したらよい

子どもアンケート 令和7年1月（集計）	
＜調査対象＞	小学校（4,5年生）、中学校（1,2年生）【計2,094名】
＜回答率＞	81.0%【回答者数 1,697名】
会議等	主な意見・要望
子どもアンケート	楽しめる・遊べる（マンガ・ゲーム、動画見れるなど）場所
子どもアンケート	小児専用部屋（サイレント部屋）があり、音楽が流れる図書館
子どもアンケート	長時間の読書や勉強に適した1人用の椅子や机のある場所
子どもアンケート	タブレット（電子書籍）やパソコン使用に対応した設備

先進地視察 令和7年1月30日	
基山町立図書館	●人口2万人未満の町村で貸出冊数が全国1位 ●「町民の方との勉強会や意見交換会を何度も重ね、町民の方々と一緒に作り上げた図書館」（館長談）
筑後市立図書館	●文部科学大臣賞受賞（2018年）児童本の貸出冊数が10年間で2倍強まで増加したことが評価された。 ●「市民による読書ボランティアの協力のおかげ」（館長談）

第3回会議 令和7年2月6日	
＜内容＞	論点④子どもたちにとっての図書館とは 今までの振り返り、視察の感想、目指す図書館像（素案）
＜総括＞	目指す図書館像（素案）は、これまでの会議や子どもアンケートの意見を整理したもので「理念やコンセプト」がないと指摘。 ・次回「書面開催」で、理念や文言の修正意見を集約する。 ・第5回会議で、修正案をもとに最終的な報告書をまとめる。

会議等	主な意見・要望
第3回・視察	基山町の「図書館が町を変える」という明確なコンセプトが印象的
第3回・視察	基山町立図書館は市民の作品展示スペースがあった
第3回・視察	基山町と筑後市の図書館は、多くのボランティアが活動していた
第3回・視察	筑後市立図書館を参考に、他の部署との連携など公平なサービス展開が必要
第3回	図書館は「本を借りる場所」だけでなく、地域課題に寄り添う施設として存在意義がある
第3回	5つの柱の前提となる「理念」を明確にする必要がある
第3回	図書館の郷土資料の充実、アーカイブ化は重要な視点である
第3回	図書館は、地域住民やクリエイターの発信の場としての可能性を検討すべき

第4回 令和7年3月28日	
＜内容＞	「書面開催」■報告書（案）- 表紙、目次、はじめに 1. 日田市立淡窓図書館が目指す図書館像（案） (1)基本理念 (2)基本理念につながる5つの柱

第5回会議 令和7年5月15日	
＜内容＞	議案1 報告書（案）、目次、はじめに 議案2 1. 日田市立淡窓図書館が目指す図書館像 (1)基本理念 (2)基本理念につながる5つの柱
＜総括＞	「事務局案に賛同、多少の文言変更は一任」と合意を得る。事務局が、最終的に本会議報告書に向け取りまとめる。後日メールや郵送で報告書を送付し、共有を確認。今後、市民検討会議の「目指す図書館像」の実現に向けて改修計画を立て、それに沿って取組を進める。

会議等	主な意見・要望
第5回	廣瀬淡窓の「淡窓」の冠名を後世に残す意味で理念の「人づくり」の意義がある
第5回	明るくて利用しやすい、子どもたちを連れて行きたくなる図書館を希望して参加
第5回	5つの柱の中で、子どもたちの学びに関する記述を足すことを希望
第5回	移動手段が無い人に対するアウトリーチサービスを提案
第5回	地域の「集まりの場」などに対するアウトリーチサービス（貸出サービスなど）を提案
第5回	高校生の利用実態（飲食可能なアオーゼに行く理由）を踏まえ、飲食可能なスペースを希望
第5回	郷土の歴史を学ぶ観点は重要
第5回	今後、アーカイブ化の推進と地域の課題解決支援サービスが図書館に求められている
第5回	遠隔地からは公共交通が不便で利用が難しい。今後、足を運べるようになることを希望
第5回	企業・地域との連携、図書館を住民が支える仕組みづくり、賛同者を増やすことが必要

I. 日田市立淡窓図書館が目指す図書館像

(1) 基本理念

『市民に親しまれ、学びとまちづくりを支える「人づくり」の拠点』

(2) 基本理念につながる5つの柱

I 子どもたちの学びを深め、豊かな心を育む

- 親子で気軽に来られる環境（声を出せる部屋など）づくり
- 読書以外の興味を引き出すイベント（映画放映など）の実施
- 楽しめる場所（フリースペース、マンガの閲覧、ボードゲームなど）づくり
- 関係機関と連携した学習活動の支援（団体貸出、学びにつながるイベントなど）

II 利用しやすい、行きたくなる

- サイレント部屋の設置や館内に音楽（BGM）が流れる環境づくり
- 読書や勉強に適した一人用デスクスペース（窓際）などの整備
- くつろげる場所（日田杉のベンチ）や飲食スペースなど、人が集まる場づくり
- 会話ができる学習スペース、グループ会議室などの整備
- アウトリーチサービス（利用困難者などに対する活動）の展開

III 郷土の歴史と文化の学びを支える

- 日田市特有の歴史・文化・芸術等郷土資料の収集・保存と活用
- 郷土資料等のデジタルアーカイブの構築

IV 地域との連携や住民の交流を促進する

- 図書資料の貸出・返却可能な分散拠点（公民館など）の拡大
- 企業やまちづくり・民間団体と連携したイベントなど、来館のきっかけ、仕組みづくり
- 地域全体で図書館の活用（作品の発表の場、地域移動支援との連携など）を推進

V 情報発信の強化とデジタル化を推進する

- SNS等、様々な広報手段を活用した図書館の情報発信を強化
- ICタグの設置や自動貸出機など、館内設備のデジタル化
- インターネットに対応した電子書籍やオーディオブックの導入